



Sustainable Development Goals #05

半田醸芳小×SDGs

ホタルが住み続けるために



桑折町立半田醸芳小学校では、5年生が総合的な学習の時間を中心に、SDGsについて学習しています。米栽培等の体験学習をしたり、タブレットコンピュータを利用し「SDGs17の目標」について調べ学習を行ったりしています。児童は、身近な問題や国内外の問題について、自分たちができることを新聞にまとめたり、劇にしたりして発表しました。



右：学習発表会の様子

○ 自然環境学習

桑折町の「うぶかの郷」でホタルの保存活動を行っている「夢ほたる こおり」の方から、自然環境を守る取組について教えてもらいました。「ホタルの住みやすい自然環境を守ることは、人間が住みやすい自然環境を守ることにつながる」ということを学習しました。また、土曜学習では、ホタルの幼虫放流会に参加しました。

○ 米栽培学習

学校近くにある「学校田」で米栽培をしています。地域の方のアドバイスを受け、田植えや稲刈りをしたり、生長の様子を観察したりしました。活動を通して、社会科で学習した農家の仕事についての理解を深めました。さらに日本の食料自給率が低いことやフードロス等の食糧問題について、問題意識をもち、調べ学習をしました。また、ご協力をいただいた地域の方を招待して11月19日(金)に収穫祭を開催し、収穫した新米のごはんとみそ汁でもてなし、感謝の気持ちを伝えました。



心を込めて稲を刈り取る児童

○ エネルギー学習

桑折町では、全ての学校に太陽光パネルを設置しています。児童は日頃から再生可能エネルギーについての関心を高め、節電も含めたエネルギー問題についても学習しています。

また、田村市にあるコミュタン福島を訪問し、3R(Reuse:繰り返し使う、Recycle:原料に戻す、Reduce:削減する)の取組や、持続可能なエネルギーについて学ぶとともに、施設見学を通し、放射線についての理解を深めました。

半田醸芳小学校では、長年地域と家庭とが連携し、年3回古紙回収やアルミ缶回収を行っています。限りある資源を大切にすることを育むことにもつながっています。



ぼくは、SDGsを学習して、気候変動など地球の環境問題のことをみんなに知ってもらい、みんなで解決していきたいと思いました。これからも、ホタルが住み続ける環境づくりに努力したいと思います。